

oz リポート

2005年

夏号 冬号

- 十年先を見込んだ住宅改装 2 頁
- 中古住宅を購入し、増改築 2 頁
- グループホーム 3, 4頁

一級建築士事務所 (有) オザワプランニング

E-メール ; ozplan@jcom.home.ne.jp

住所 ; 〒064-0944 札幌市中央区円山西町2丁目3-4

事務所 TEL/FAX (011) 613-2023

自宅 TEL/FAX (011) 615-3544

設計事務所(有)オザワプランニングは、戸建て住宅や高齢者の生活する福祉施設を中心とした家作りをおこなっています。

このレポートは(有)オザワプランニングが実際に設計、建設監理にかかわった建物をご紹介します。

現地の見学や設計資料のご説明など対応しますので、お問合せ下さい。

夏からは、自称『住まいのエステティシャン』新スタッフも加わりました(4頁)。

これを機に、より充実した設計サービスを提供してまいります。



札幌市中央区

完成 しました

円山西町の家 — こだわりのローコスト住宅

自社の事務所併用住宅が完成しました。
事務所10坪、住宅30坪、合計40坪
建設費は解体費用を含め50万円/坪
六月中旬前庭の植栽が済み、晴れて完成です。



道路側外観 一階左手は事務所 三層目は小屋裏部屋



二階リビング

右手がダイニング、本棚の裏はキッチン



小屋裏階段と主寝室

柱や梁などの構造材をインテリアに生かした内装や、ツーバイフォーで使う心材を床板や棚板に利用するなどして、インテリアの演出要素にしています。

写真の左側は小屋裏に上る箱階段です。訪れる人が一番関心を示される所です。



二階リビング 薪ストーブの設置をお願いした㈱北海道リンクアップ社の広告用写真として、この室内が採用されました。
『リプラン』2005年夏・秋号掲載

屋根付き看板



薄い鋼板の曲面屋根付き

写真の看板は、(株)コウキの鈴木亜紀子さんにデザインをお願いしました。

鈴木さんはOZリポート第一号でご紹介した『ミシュハウス』の看板を製作され、その作品で北海道サインデザインコンテスト優秀賞を受賞されました。

今年の入賞なるか？



改装工事

十年先を見込んだ住宅改装

住みながらの改装工事

札幌市中央区

- 1) 明るい部屋
- 2) 雪対策(ロードヒーティング等)
- 3) 地下防水工事

現在50代後半の依頼者からは、上のようなご要望を頂き設計しました



改装前

ポイント-1

サッシのサイズ、取り付け高さを変更し、朝日がタップリふりそそぐLDになりました

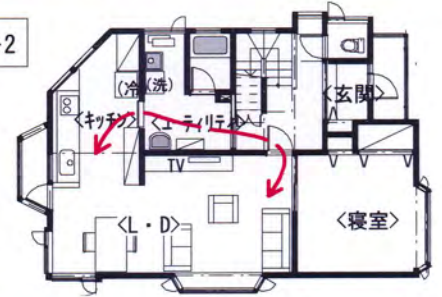


改装後

ポイント-3

冬季の安全対策のため、玄関先の歩道37㎡をロードヒーティングしました。
ボイラーの設置を含め工事費は2.1万円/㎡となっています。

ポイント-2



平面計画は3案を提示、上の動線優先案に決定。1階の全体を改装し、設備では浴室の交換をしています。



改装後

素材のもつ色あいを生かした、落ち着いた寝室

お忘れなく

キッチン、洗面、お風呂など水周りの改装を伴う工事は、その工事期間中使用できません。
そのため、今回は2週間程度のホテル住まいをお願いしました。



札幌市東区

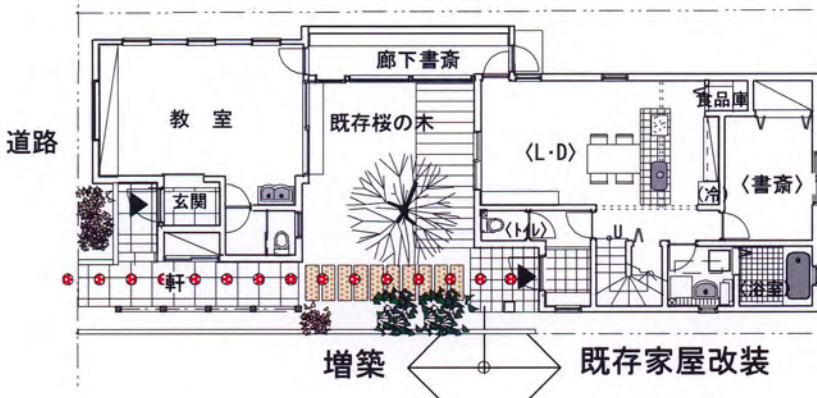
工事中です

中古住宅の購入と増改築のセット

購入された中古住宅に、増改築工事を行い入居する計画です。増築部には、子ども向けの教室と渡り廊下を利用した書斎を作ります。教室用に作った玄関先の軒をくぐって母屋に至るところが工夫した点です。

改装工事はもとの建物自体の不確定要素が多く、工事が始まってから慌てることが多いのですが、この増改築は順調に進んでいます。

- 理由：◎中古住宅といっても、築三年と新築同然であり、傷みなどが見当たらない
◎設計図書(製作図)が残っている
◎ツーバイフォーのため、増改築がしやすい



解体されたベット小屋



増改築前



子ども教室玄関 住宅玄関 渡り廊下・書斎





札幌市



しています

デイサービスセンター+グループホーム



左側赤い屋根がデイサービスセンター 右手はグループホーム

外観や平面計画でのポイントは、いわゆる『うなぎの寝床』状の敷地をどのようにゾーニングし、形を与えるかです

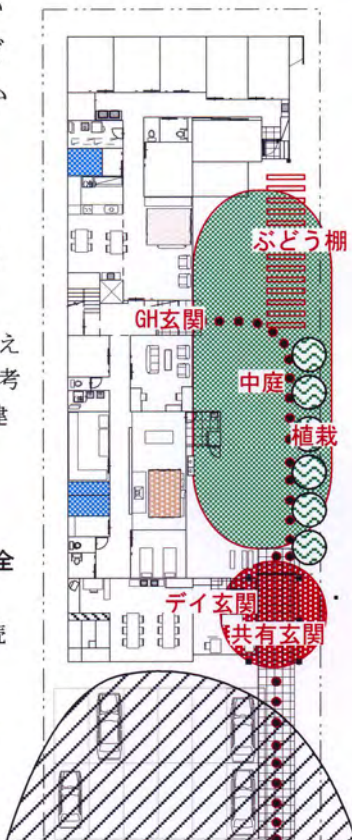
外観

道路側からは切妻屋根の家が欲しい：敷地条件、雪対策からフラットルーフの無落雪屋根にしたい：

ただ細長い建物では、倉庫みたいに見えてしまいます。低層住宅の並ぶ地域を考慮し、機能と外観を結びつけて2つの建物のような構成としました。

ゾーニング

毎日の生活をおくる住み手のために安全でプライバシーの高い中庭が欲しい：2つに分かれた建物とは対照的に、連続した中庭を造りました。道路側にはデイとグループホーム共有の玄関を大きく作り、開放的な囲いを実現、一方、隣地側は植栽とぶどう棚で囲われた雰囲気を作っています。



アプローチ



道路側からの外観は、利用者が『家』をイメージし易くするため三角屋根の形状とした
三角屋根の入り口を通り過ぎると明るい中庭が開け、温室やぶどう棚、テラスなどが見えてきます



温室
ぶどう棚の下には犬小屋と鳥小屋がある
GH玄関
デイ玄関
デイの玄関につき、グループホーム、ぶどう棚の奥に散歩用通路がある

ボランティア体験記

事務所スタッフの小澤由美子は、新人研修のスタートとしてグループホームでボランティアをしています。以下、認知症については全くの素人が見た体験をご紹介します。

入居者

茶の間にあるの百人一首を出して私が読み始めると、90代の女性は、上の句を読むと正確に下の句が出てきます。田舎育ちで冬の遊びが限られていたということですが、耳で聞いたことから記憶が立ち上がっているという感じでした。

スタッフ

スタッフは、身の回りのお世話だけでなく、ひとりひとりの健康や発したことばに至るまで記録し、日々の引継ぎをしています。グループホームはあくまでも利用者の方々のお住まいで、スタッフはお宅に『おじゃましている者』という姿勢が印象的でした。



グループホーム発祥の地といわれる函館『あいの里』
6月末訪問した写真の菜園では、入居のご婦人が楽しそうに野菜作りをされていました



札幌市南区

グループホーム - その2

のどかな郊外 幼稚園の隣に建設予定です

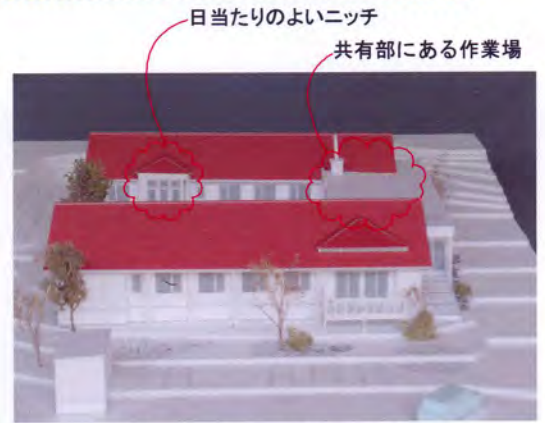
札幌市南区簾舞に建設を計画しているグループホームです。広々とした敷地には、サクランボ畑、幼稚園、そして裏には豊平川の清流が流れています。緩やかな勾配のある敷地を利用し、中庭を挟む形で、2ユニット18名が生活。地域に合った伸びやかな外観をデザインの基本としました。



簾舞は雪が多い 軒下には列柱を配置、軒の出寸法を大きく確保している



なだらかな勾配のある敷地に沿って、2つのユニットが並ぶ 水平の屋根部分は作業場などの共有機能を持たせた



等高線に沿って2つのユニットが並ぶ

特徴：

- ① 各ユニットにはショートステイ対応のゲストルームを設置
- ② 2ユニットで使用する共有部の作業場は広さ20畳 冬の間もを充実した半屋外生活を想定
- ③ 明るさは重要な要素。廊下には大きなトップライトを設け、心理的不安感を払拭
- ④ 建物各部に一般的家庭サイズと納まりを使用 あくまでも暮らしさを失わないこと
- ⑤ リビングの一角には家事コーナーを設け、足踏みミシンを設置
- ⑥ 個室のドアの位置、便所の位置など、老人たちのもつデリケートな面を大切に設計
- ⑦ 洗濯物の量に対応した洗濯乾燥室を確保
- ⑧ 中庭に面し、各ユニットには日当たりのよいニッチを設計

○ オザワプランニング からのお知らせ

1) 新人スタッフ紹介



小澤由美子

自称「住まいのエステティシャン」設計士打合せに同行し、女性の視点で建て主様のご要望を伺います。また、完成後はメンテナンスアドバイザーとして、アフターサービスに伺います。

Eメール：yumioz@jcom.home.ne.jp

2) 4月 住まいの勉強会を開催

テーマ『家作りの費用』

限りある予算の中で希望とぶつかる壁、壁、壁何を譲って、何にこだわるか。建設費だけでも大変ですが、それ以外の予算もしっかり認識しておく必要があります。解体費用、申請手数料、地盤調査費から始まり、完成後の不動産取得税、火災保険料、インテリア備品など見落としやすい出費の数々について、具体的にお話をしました。

3) オープンハウス — オザワプランニング事務所と自宅

生活を始めて半年後となる11月上旬に第三回目のオープンハウスを企画しています。この半年間の生活から感じた、改善点や工夫の仕方等もご紹介できると思います。また、薪ストーブを実際に焚く室内も是非ご覧ください。

引越後、今度の冬がはじめての冬となります。設計上の断熱性能はかなり高めの設定をしましたが、体験するのが一番です。土間床の意外な暖かさや小屋裏の様子など、ご確認くださいませ。

その他、15年、20年使い続けてきた家具も実際に見て頂き、家族の一員のような顔をして納まっている様子もご覧ください。家具のメンテナンスについても、専門家のアドバイスをいただく予定です。間近になりましたらご案内いたします。

是非おいでください